

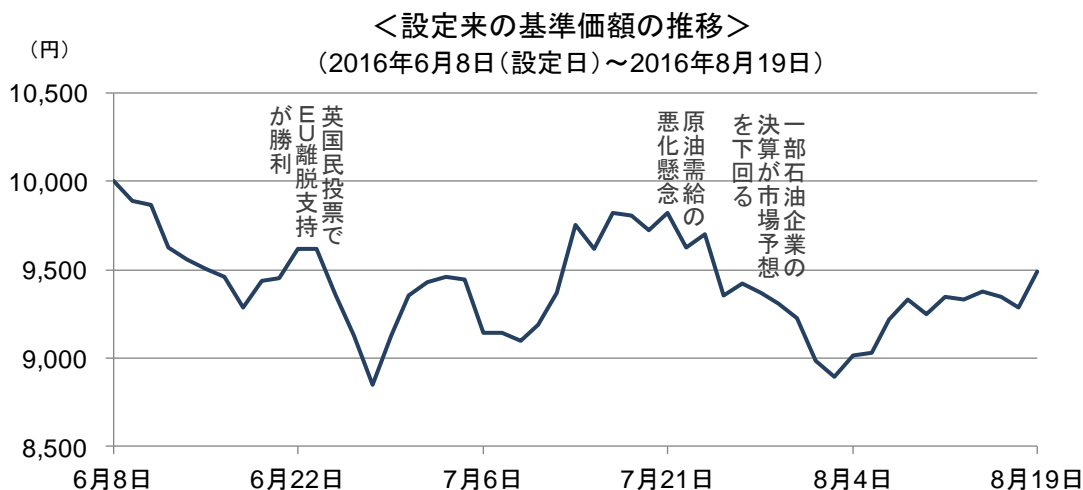


## グローバル・オイル株式ファンド

### 中長期的な上昇が期待される石油関連株式

当ファンドの基準価額は、設定以降、原油価格の下落や円高の進行などが重石となり、10,000円を下回る水準で推移しています。7月末から8月初にかけては、円高に加え、一部の大手石油関連企業の決算が市場予想を下回ったことなどが嫌気され、石油関連株式が下落したことから、基準価額も下落基調となりました。しかしながら、足元では、原油価格の反発などを受け、基準価額は底堅く推移しています。

次ページ以降では、石油関連株式の今後の見通しについてご紹介いたします。



＜基準価額の騰落率＞  
(2016年6月8日(設定日)～2016年8月19日)

当ファンド	2016年6月8日	2016年8月19日	騰落率
基準価額	10,000 円	9,491 円	-5.09%
ご参考	2016年6月8日	2016年8月19日	騰落率
米ドル(対円、仲値)	107.12 円	100.43 円	-6.25%
WTI原油先物価格(米ドル/バレル)	51.23	48.52	-5.29%

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

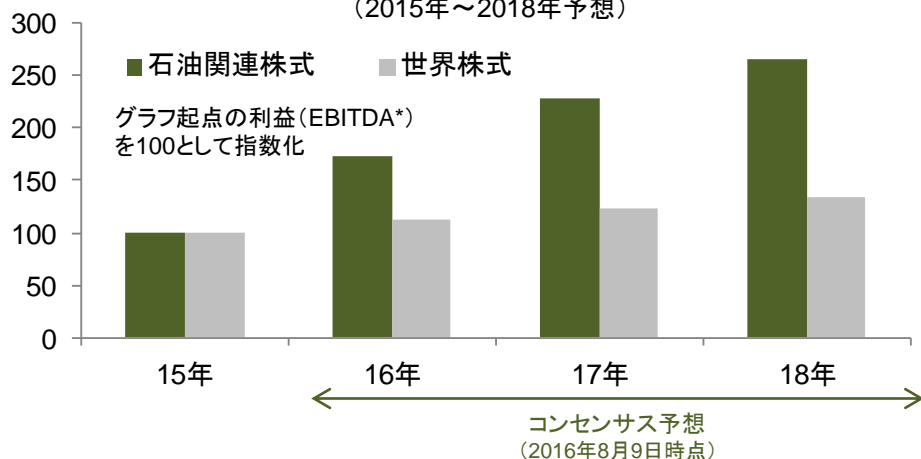
## 中長期的な上昇が期待される石油関連株式

### 【石油関連企業の業績は中長期的に拡大する見通し】

- 石油関連企業はこれまで、原油価格の低迷により収益獲得が厳しくなる局面でも、積極的なコスト削減やM&A(合併・買収)を通じ、財務基盤の強化や効率化を進めることで厳しい市場環境を乗り越えてきました。
- そうした企業努力により低コスト体質となった企業は、市況回復・上昇時の業績回復・拡大ペースがより高まると期待されます。こうしたことなどから、石油関連株式は、中長期的には原油価格の上昇とともに、世界株式を上回るペースでの業績拡大が見込まれます。

#### ＜石油関連株式と世界株式の利益比較＞

(2015年～2018年予想)



\*利払前・税引前・償却前利益

石油関連株式: MSCI ACワールド エネルギー株指数

世界株式: MSCI ACワールド指数

※上記は当ファンドのベンチマークではありません。

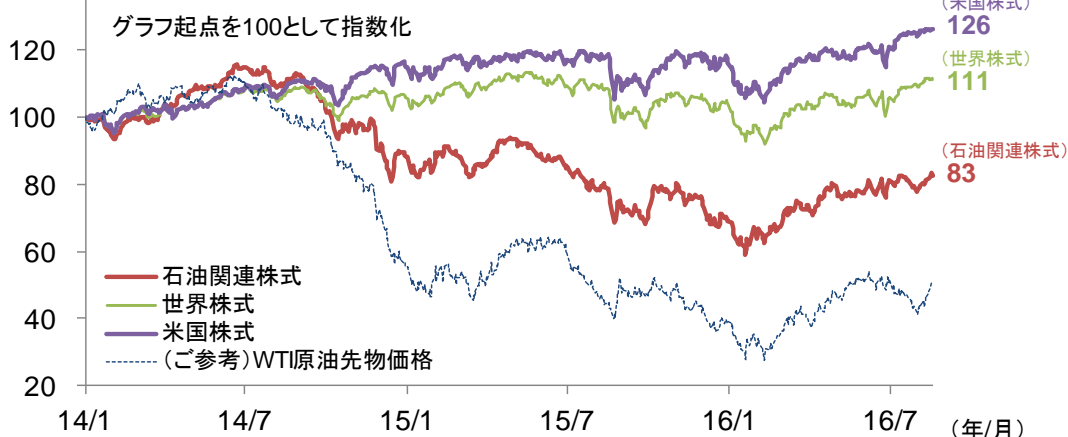
信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

### 【出遅れ感がみられる石油関連株式】

- 石油関連株式は、業績の改善期待に加え、米国株式や世界株式などと比較すると依然として出遅れ感が強いこともあり、投資家の注目を集めると期待されます。

#### ＜石油関連株式と主な関連指標の推移(米ドルベース)＞

(2014年1月初～2016年8月19日)



石油関連株式: MSCI ACワールド エネルギー株指数(トータルリターン)

世界株式: MSCI ACワールド指数(トータルリターン)

米国株式: S&P 500種指数(トータルリターン)

※上記は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 運用者のコメント ～直近の企業決算と今後の見通し～

### 決算

#### 全体的に予想を下回るも、川上企業を中心に収益改善の兆し

- 2016年4-6月期の決算は、スーパー・メジャー（欧米の超大手総合石油企業群）を中心に、多くの石油関連企業で市場予想を下回る内容となりました。
- 特に市場の予想と異なっていたのが、総合石油企業における精製などの川下部門の不調です。4-6月期は、精製会社の多くが必要以上に稼働率を高め、過剰に生産を行なったことなどを背景に、石油製品の需給が悪化し、マージンの縮小につながったことが、川下部門の収益を押し下げる要因となりました。
- 一方で、川上に属する「探査・開発」セクターの企業に関しては、収益性の改善がみられました。これまで進められてきた油田開発コストの削減に加え、4-6月期は営業コストの削減が目立ちました。収益性が改善したことで、原油価格が大きく回復しなくても支障のない体制が整ってきたと言えます。

### 見通し

#### 今後見込まれる、企業収益と原油需給の改善

- 多くの石油関連企業は生産性の改善に取り組んでいます。そのため、今後、原油価格が一段と大きく上昇しない場合においても、収益の改善が期待されます。こうした収益改善の兆しがみられれば、同セクターに対する投資家心理の改善につながると期待されます。
- イランの増産や、カナダにおける供給障害が収束したことなどを背景に、原油供給の増加懸念が拡がったことに伴い、8月初にかけて、原油価格は下落傾向となりました。しかし、世界の原油需要は2017年に100万バレル以上増加すると見込まれているほか、米国を除く世界の原油在庫が減少していることなどから、市場関係者の多くは、2017年の半ば頃に原油の需給がバランスする、あるいは需要が供給を上回るとみており、今後、原油価格の上昇が見込まれます。
- なお、米国では、原油生産企業の設備投資削減などを背景に、引き続き原油生産量の減少が見込まれています。足元では、原油掘削リグ稼働数の増加がみられるものの、生産の減少を止めるにはリグ稼働数が足元の2倍程度の水準に増加する必要があるとみられることから、影響は限定的と考えています。

### 着眼点

#### 当ファンドでは引き続き川上企業に注目

- 原油価格の上昇が見込まれることなどを理由に、当ファンドでは、その恩恵を受ける川上ビジネスに関わる企業に注目しており、なかでも「探査・開発」セクターを強気にみています。特に、生産コストの低下がみられる米国のパーミアン油田を中心に生産活動を行なう企業に注目しています。同油田における生産活動は、現在の原油価格の水準が若干下がった場合でも、採算性が維持できるとみています。
- また、同じく川上に属する「装置・サービス」セクターにも注目しています。これまでの原油安の環境下で、油田サービス企業は手数料の下落圧力を受けてきたものの、原油価格の上昇とともに、手数料水準が回復すると見込まれ、収益性の大幅な改善につながるとみています。

上記は、「グローバル・オイル株式ファンド」のマザーファンドの投資顧問会社である日興アセットマネジメント アメリカズ・インクからのコメントをもとに作成しています。

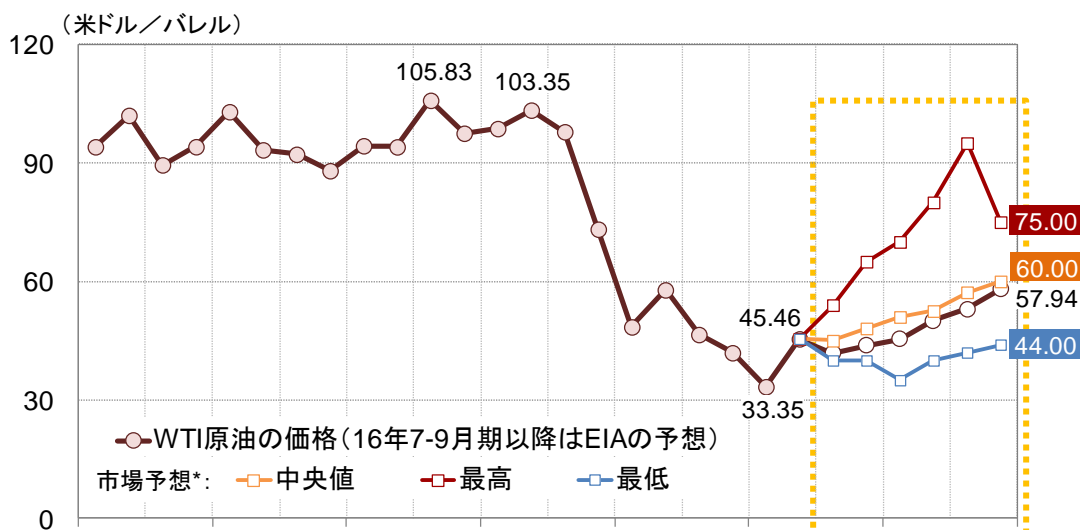
## ご参考：原油価格の見通し

### 【中期的には需給改善とともに、原油価格の上昇が見込まれる】

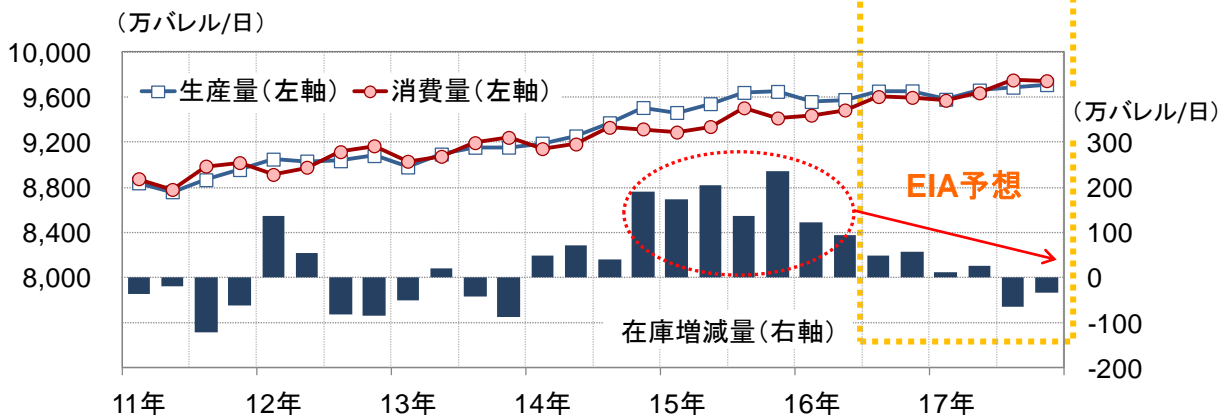
- ドライブ・シーズンにある米国でガソリン需要が伸び悩んでいることなどから、原油価格は8月初にかけて軟調な展開となったものの、中期的には上昇が見込まれています。米国のEIA(エネルギー情報局)が8月9日に発表した短期エネルギー見通しでは、原油の過剰供給状態が徐々に改善・解消に向かうとしており、原油価格は2017年末にかけて上昇する見通しとなっています。
- 最新見通しでは、米国の原油生産量が上方修正され、原油価格の見通しがやや引き下げられました。一方で、世界全体の供給量は概ね下方修正となっており、原油需要の増加見通しとともに、原油の在庫増加ペースは今後も鈍化傾向を辿り、2017年後半には在庫減少に転じるとの見方が維持されています。
- 今後、こうした需給改善の見通しの確度が高まれば、原油価格は再び持ち直しに向かうと考えられます。

### <原油の世界需給および平均価格の推移>

(2011年1-3月期～2017年10-12月期予想)



\* 市場予想は2016年8月9日時点



EIAのデータ(2016年8月9日発表分)などをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

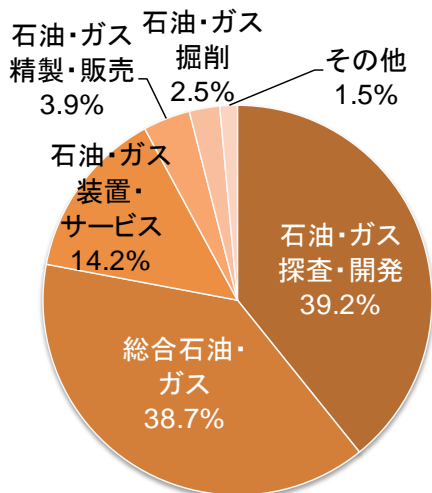
■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



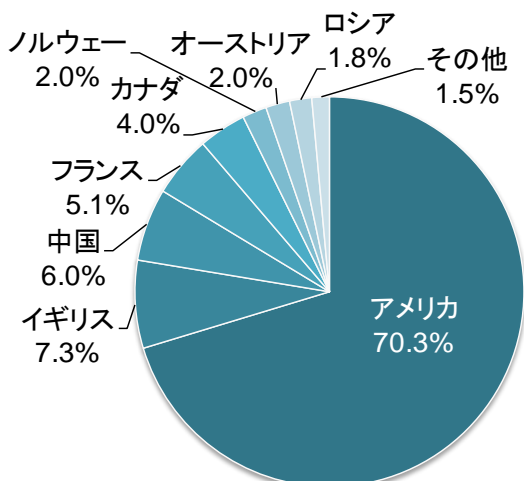
# ポートフォリオの概況

(2016年7月末時点)

<業種別構成比>



<国別構成比>



※上記データはマザーファンドの状況で、対純資産総額比です。  
※各比率は四捨五入により合計が100%とならない場合があります。

<組入上位10銘柄>

	銘柄	国名	業種	比率
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	総合石油・ガス	8.3%
2	CHEVRON CORP	アメリカ	総合石油・ガス	6.2%
3	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	イギリス	総合石油・ガス	6.2%
4	OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	アメリカ	総合石油・ガス	5.1%
5	TOTAL SA	フランス	総合石油・ガス	5.1%
6	ANADARKO PETROLEUM CORP	アメリカ	石油・ガス探査・開発	4.9%
7	PIONEER NATURAL RESOURCES CO	アメリカ	石油・ガス探査・開発	4.9%
8	CONCHO RESOURCES INC	アメリカ	石油・ガス探査・開発	4.8%
9	SCHLUMBERGER LTD	アメリカ	石油・ガス装置・サービス	4.7%
10	EQT CORP	アメリカ	石油・ガス探査・開発	4.0%

(組入銘柄数:28銘柄)

※上記データはマザーファンドの状況で、対純資産総額比です。  
※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

- 1 世界の石油関連企業の株式を主な投資対象とします。
- 2 20～30銘柄程度に厳選投資します。
- 3 地政学リスク分析を専門とするユーラシア・グループからの情報・分析を活用します。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項

### ■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】  
【有価証券の貸付などにおけるリスク】【業種の集中に関するリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様は「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お 申 込 メ モ

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2026年5月12日まで(2016年6月8日設定)
決算日	毎年5月12日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## 手 数 料 等 の 概 要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜ご購入時、ご換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	純資産総額に対して年率1.7928%(税抜1.66%)を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] <a href="http://www.nikkoam.com/">http://www.nikkoam.com/</a> [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

### 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			

(50音順、資料作成日現在)